

後編 調査・研究等

1 漢字の使用状況についての調査

調査者	調査の対象	対象としたものの年月日	調査の内容	発表物
内閣印刷局	帝国議会の両院 本会議の速記録 1 第55回帝国 議会 2 第65回帝国 議会 3 第67回帝国 議会	昭3.4.20～ 3.5.9 昭8.12.—～ 9.3.— 昭9.12.—～ 10.3.—	漢字数 3,949字 延べ 3,276,765字	本邦常用漢字の 研究 (昭和16年5月, 内閣印刷局研究 報告第1号)
カナモジ カイ	大阪毎日・東京 朝日・読売・報 知・時事各紙の 政治面・社会面	昭和10年1月 から12月まで の60日分	漢字数 3,542字 延べ 447,575字	新聞ノ漢字使用 度数シラベ (昭和16年9月)
大西雅雄	各種教科書・雑 誌・新聞・単行 本等	昭和7年～ 13年	延べ 804,000字 のなかから使用 度の高い3,000 字を選んだもの	日本基本漢字 (昭和16年, 三省堂刊)
毎日新聞 東京本社	新聞以外の印刷 物を含む使用活 字(活字鑄造伝 票による。)	昭和21年12月 から昭和23年 1月まで	漢字数 2,506字 延べ 48,787,144字	本社使用活字頻 度数調査表(昭 和23年8月,東 京本社印刷局)
朝日新聞 東京本社	本社版の本紙, 地方版の使用活 字(活字鑄造伝 票による。) 本社版の一面, 社会局,地方版 の熟語。	昭和23年11月 から24年7月 まで 昭和23年9月 ～24年8月の 122日分	漢字数 2,309字 延べ 17,116,117字 漢字2字の熟語 15,460語 延べ 581,863語	活字使用度数調 査,熟語使用度 数調査(昭和25 年2月,東京本 社印刷局)
毎日新聞 大阪本社	本社の朝刊市内 版および夕刊の 使用活字	昭和28年3月 から5月まで の間の7日分, 84ページ	漢字数 2,643字 延べ 322,735字	本社使用活字使 用度数調査表 (昭和28年10月, 大阪本社印刷局)

調査者	調査の対象	対象としたものの年月日	調査の内容	発表物
毎日新聞 東京本社	表外字(第1外字, 第2外字, 封鎖区)	昭和32.9.6~ 33.9.5	漢字数 2,756字 延べ 388,866字	外字調査報告書 (昭和35年7月, 東京本社)
国立国語 研究所	婦人雑誌 (主婦之友, 婦 人生活)	昭和25年1月 ~12月	漢字数 3,121字 延べ 169,590字	婦人雑誌の用語 (報告4, 昭和 28年3月)
〃	総合雑誌 (中央公論等13 誌)	昭和28年7月 ~29年6月	漢字数 2,781字 延べ 117,149字	総合雑誌の用字 (報告19, 昭和35 年12月)
〃	各種雑誌 (5部門, 90種)	昭和31年1月 ~12月	漢字数 3,328字 延べ 280,094字	現代雑誌九十種 の用語用字—— 第二分冊——報 告22, 昭和38年 3月)
〃	郵便報知	明治10年11月 ~11年10月	漢字数 約3,500字 延べ 約15万字	進藤咲子「明治 初期の新聞の用 字」(「ことばの 研究(3)」に収載 予定)

2 送りがな, かなづかいについての調査

調査者	調査の対象	調査した年月日, あるいは対象としたものの年月日	調査の内容	発表物
国立国語 研究所	14種の用語集	昭和31年・ 32年度	14種の用語集に ついて, どのよ うな語が送りが なのゆれを示 し, どのよう な語が安定してい るかについての 調査	「年報9」所収, 特殊問題の調査 研究
八木徹夫, 松尾拾, 斎賀秀夫	都内4公立中学 校の生徒 第2学年, 205名	昭和33年2月 ~3月	50語の調査語に ついて送りがな の実態	「言語生活」80号 (昭33.5) 所収, 中学生の送りがな

調査者	調査の対象	調査した年月日,あるいは対象としたものの年月日	調査の内容	発表物
香川県明善短期大学文学研究室	高松市在住の1,000名(中学校生徒306名,高等学校生徒495名,社会人240名)	昭和33年6月～12月	50語の調査語について送りがなの実態	「言語生活」89号(昭34.2)所収,高松市における送りがなの調査
国立国語研究所	全国の都市,農山,漁村の中学校6校,第1学年～第3学年,各1学級	昭和36年12月～37年1月	送りがなについて85語,かなづかいについて65語,聞き取り書きによる調査	「年報14」所収,中学校生徒の言語能力の発達に関する研究
新聞協会	大阪市および隣接12都市の市民400名	昭和37年9月	44語の調査語について,送りがなの実態(第2回新聞総合調査のうち,理解調査の一部として)	「市民生活とマス・メディア」新聞総合調査委員会編,日本生産性本部刊(昭40.10)
国立国語研究所	長岡市の,小学校児童・中学校生徒をもつ母親243名	昭和37年10月	かなづかい,送りがなについて,各数語についての実態(国民各層の言語生活の実態調査の一部として)	報告29「戦後の国民各層の文字生活」(昭41.3)
〃	稲付中学校 第1学年の生徒139名	昭和39年6月	80語の調査語について送りがなの実態	

3 学習指導,書記能力についての調査

調査者	調査の対象	実施の年月日	調査の内容	発表物
文部省	東京都の12小学校,第5,第6	昭13.3.15～24	短文10問を読みあげ,ひらがな	現代かなづかい書記能力に関する

調査者	調査の対象	実施の年月日	調査の内容	発表物
	学年の児童 約2,250名		で書かせたもの	る実態調査報告 (印刷物, 非売)
読み書き 能力調査 委員会	全国の,270市区 町村に住む15歳 から64歳までの 21,008名	昭和23年8月	日本国民として 社会生活を営む うえに必要な文 字・言語を使う 能力の調査	日本人の読み書 き能力(東京大 学出版部, 昭和 24年4月刊)
文 部 省	東京都の11小学 校の第2学年の 児童 約900名	昭23.10.2~9	第1学年用の国 語教科書に用い られている語だ けを用いて問題 を作成し, 語・ 文の理解力をみ たもの	小学校一年の国 語学習効果の判 定について (印刷物, 非売)
〃	全国6地区, 9小学校の第2, 第4, 第6学年 の児童 約3,700名	昭26.2.末~ 26.3.末	教育漢字の学年 別配当について の予備的な資料 を得るために, 児童の漢字習得 力の実態につい ての調査	義務教育におけ る漢字習得に関 する調査 (印刷物, 非売)
〃	各年度によって 異なるが, 7校 ~12校の小学校 で, 各学年1学 級~2学級	昭和27年度~ 30年度	教育漢字 881字 の小学校におけ る初出学年の基 準を決めるため の調査	教育漢字の学年 配当(漢字学習 指導実験調査報 告書) (教育出版K. K, 昭32.7刊)
〃	北海道を除く全 国の中学校, 全 日制高等学校か ら抽出した中学 校77校(生徒数 19,490名), 高 等学校61校(生 徒数15,270名)	昭和32年1月 下旬	教育漢字以外の 969字の当用漢 字についての教 育的処置を考え る資料を得るた めに行なった読 む力の調査	中学生, 高校生 の漢字を読む力 (漢字学習調査 報告) (教育出版K. K, 昭34.10.刊)

調査者	調査の対象	実施の年月日	調査の内容	発表物
文 部 省	関東地方の34市区町村，東北地方の40市区町村の15歳から24歳までの者 約2,000名	昭和29年～ 31年	国民が日常の社会生活を営むのにじゅうぶんな読み書き能力を持っているかどうかを調べると同時に，昭23に行なわれた「日本人の読み書き能力調査」と比較し，また，義務教育だけでじゅうぶんな能力を得られるかどうかをみたもの	国民の読み書き能力 (大蔵省印刷局昭36.3.刊)
//	関東地方，中国地方と東北地方，九州地方のうち，毎年2地方ずつ，小学校第2学年～中学校第3学年の児童・生徒	昭和32年～ 38年	義務教育で学習する必要があると思われる語の理解度を，内省法によって調査したもの	国語シリーズ 41・42・51・52・58・59 [昭和36・38年度分は未刊] [注：36年度分は，シリーズ63として42年刊。]
//	全国6都県，各都県小学校2校，中学校2校 学年は，年度によって異なる	昭和39年～	学年別に配当された漢字，教育漢字以外のおもな当用漢字，固有名詞の漢字，送りがななどの調査	謄写版印刷で調査校等へ配布
国立国語研究所	新宿区四谷第6小学校，神奈川県比々多小学校および全国的に十数校の第1学年の前期児童	昭和28年4月～10月	言語能力の発達について	報告7「入門期の言語能力」 (昭和29年3月刊)

調査者	調査の対象	実施の年月日	調査の内容	発表物
国立国語研究所	同上の児童の第1学年後期から第2学年終了まで。	昭和28年10月～30年3月	言語能力の発達について	報告10「低学年の読み書き能力」(昭和31年3月刊)
〃	同上の児童の第3, 第4学年	昭和30年4月～32年3月	〃	報告14「中学年の読み書き能力」(昭和33年3月刊)
〃	同上の児童の第5, 第6学年	昭和32年4月～34年3月	〃	報告17「高学年の読み書き能力」(昭和35年3月刊)

4 意見調査

調査者	調査の対象	実施の年月日	調査の内容	発表物
日本文芸家協会	協会会員 577名 (回収173名)	昭和30年3月	当用漢字, 現代かなづかい等12項目について意見を求めるアンケート調査	「言語生活」58号(昭31.7) 文芸家は国語国字問題をどう考えているか
国立国語研究所	長岡市民 310名	昭和37年10月	当用漢字, 現代かなづかい等についての知識, 意見, 関心についてきく面接調査	報告29「戦後の国民各層の文字生活」(昭41年3月刊)